

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県飯豊少年自然の家	指定管理者	株式会社飯豊町地域振興公社
所在地	西置賜郡飯豊町大字添川3535-33	県担当課	教育局生涯教育・学習振興課
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	(電話番号)	(023-630-3126)
検証期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		

検証項目		指定管理者による自己検証		県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況					
① 管理・運営業務の履行状況		年度内を通して県職員と共に「運営方針に則った業務を行うことができた」と考えている。 暖房ボイラーについては使用していないが点検整備を行った。使用許可を取るために部品交換も行った。異常停止が頻発していた給湯ボイラーは、7月と10月に部品交換などの修繕を行った。 年度末に発生した「いいでの広場」の雨漏りについて、雨漏りの真上にあたる屋根と天井を迅速に修繕を行った。大雪による倒木、枝折れが多発したが、9月までにほとんどを処理、処分することが出来た。倒壊する危険があった三角看板を撤去した。		評 価	≪評価の理由≫ ・管理運営について、県と指定管理者の連携・協力体制のもと、包括協定の仕様書に基づき、適切に行われている。 ・施設設備の安全点検の実施等により、要修繕箇所などを早期に発見し、適切に対応している。 ・マニュアル作成や職員間の共通意識等、課題に対し早急に対応している。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)		6年度末から労災事故が3件発生してしまった。要因は労務の安全管理マニュアルの不備と“慣れ”から来る慢心、油断であった。マニュアルについては、所長にも協力をお願いして作成した。 職員に利用者、引率者に対して適切ではない対応があった。該当職員を含めた全職員で言動や行動について注意喚起を行った。適切な対応について共有し、職務にあたるよう努めて行く。 アレルギー対応について、栄養士を中心に改善に向けた取り組みを現在も行っている。		≪課題等の原因分析≫ ・施設設備の老朽化が進み、要修繕箇所が増加している。 ・職員の危機管理及び利用者対応について、改めて確認する必要がある。	
課題、問題点への今後の対応		・施設設備の老朽化に対しては、利用者の安全確保を第一とし、引き続き、県と指定管理者で協議しながら、適切に必要な修繕を検討していく。			
2 利用者からの要望等への対応					
① 意見・要望等及びその対応状況		6年度に破損し使用が出来なくなっていたアスレチック遊具2台(ネット渡り、ロープ渡り)の修復を行った。幼児園児に大変人気のあるものなので、受入が始まる前に修繕が出来て良かった。「アスレチック遊具を増やして欲しい」の声は以前からあるが、7年度は伐採木を活用して幼児でも楽しめる「平均台」を設置した。		評 価	≪評価の理由≫ ・利用者からの意見・要望を施設運営に反映、対応可能なものから積極的に改善し、利用者アンケートにおいては「満足」と「概ね満足」で9割を超え、非常に高い評価を得ている。 ・施設にある資材を再利用し、利用者が楽しめる遊具を職員で作成した。
意見・要望等への今後の対応		・今後も継続して利用者アンケート等を実施し、寄せられた意見・要望については可能な限り事業実施や施設運営に反映し、更なる満足度向上に努めていただく。			
3 指定管理者制度活用の効果					
① サービスの向上		自主企画事業を7回行ったことにより、家族単位で利用できる機会が増えた。特に、企画事業の中でも人気のある「スノーチューブすべり」については、一般開放デーを自主企画事業としてこれまでより1回多い3回開催することが出来た。そのことにより、これまでよりも多くの人に人気のスノーチューブを楽しんでもらえた。 ホームページを一新したことにより、情報をタイムリーに発信することが出来るようになった。加えて、利用申し込みをウェブサイトから出来るようになったことで手続きの簡略化が進んだ。		評 価	≪評価の理由≫ ・自主事業により企画数を増やすことで、利用者のニーズに応え、アンケートでも高評価を得ている。 ・効果的な広報、また利用者がスムーズに手続きを行うことができるよう、ホームページを改良している。

② 経費の節減	電気料抑制として「人がいないところは消灯する」を徹底した。 公社の印刷物については、職員向け、対外向けに関わらずカラー印刷を厳禁とした。 館内のワックス掛けについては、材料を購入して施設管理職員で行った。外部委託費の軽減を図った。	評 価 A	≪評価の理由≫ ・ 自助努力を行い、こまめに身近な取組を徹底することで、経費の削減に努めている。 ・ 印刷物の費用を少しでも減らし、経費の削減に努めている。 ・ 外部委託にて行っていた管理業務を施設職員が行うことで、経費を削減した。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	地元観光の目玉である「水没林」の集客促進策として「雪没林」事業を行った。民放番組に組み込まれたことや町商工観光課の８年度に向けたプロモーションの役に立てた。 ７年度も地元のそば打ちサークル団体とタイアップした自主企画事業を行った。 県や町などが主催する「おきたま森の感謝祭2025」の主会場を提供した。実行委員会メンバーにも加わり円滑な運営が出来るよう協力を行った。	評 価 A	≪評価の理由≫ ・ 地域の指定管理者としてのノウハウを活かし、地元特有の事業を実施、地域の集客促進、活性化に貢献している。 ・ 地域の催事の際、施設の敷地を開放し、地域との良好な関係作りに努めている。
総合的な評価	・ 県と指定管理者の連携・協力体制のもと、安全・安心な施設の環境整備等、きめ細やかな施設運営が行われている。 ・ 課題に対し、改善に向けてマニュアルを整備するなど、早急に対応している。 ・ 事業展開や広報活動においては、これまでの地元根差したノウハウが生かされ、利用者の回復につながっており、今後も施設の満足度向上に努めていただきたい。 ・ 施設の老朽化や鳥獣への対策等がある中で、利用者が安心して活動できるよう対応している。		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。